

子育て支援コース(きくきく・わいわいコース)では・・・

「なないろ教室・子育て支援コース」の「きくきく・わいわいコース」では、短時間（30分間）に様々な遊びを紹介し、その中で、具体的な言葉かけの見本をお見せしながらアドバイスをお伝えしています。

「なないろ教室」では、「聴能発話支援コース」、「文字・数・表現コース」など、2歳児さん以上のお子さんには、1時間の個別レッスンをご提供しています。「きくきく・わいわいコースは」1時間の着席に向けた体制作りも目的の1つではありますが、「なないろ教室」で実施している個別レッスンは、「きくきく・わいわいコース」に限らず、お子さんの「言語指導」というよりは、親御さんがご家庭でお子さんとどのように関われば良いか、どんな風に遊べば良いか、その時にどんな言葉かけをすれば良いかを学ぶ場と考えています。**レッスンの対象者は親御さん**です。

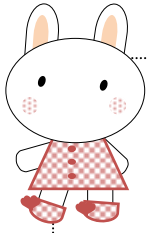
特に、「子育て支援コース」の対象児である0-1歳児さんは、所属されている療育施設への通う回数が多くはないので、多くの時間をご家庭で過ごすことになります。親御さんの関わりがお子さんのさまざまな発達につながります。

「すくすく・わいわいコース」では、より具体的な遊び方を体験する場となります。「きくきく・わいわいコース」と合わせてご参加ください。

何かありましたらいつでもお声を掛けてください。

よろしくお願いします。





レッスンでは、こんなことをします

～一緒に遊ぼう・一緒にやろう～

玩具（乗り物・ぬいぐるみ・指人形・マグネット）遊び

手先を使った遊び（シール貼り・ボタンはめ・ひも通し）

楽器遊び・音遊び

吹く（息を出す）遊び

歌・手遊び

絵本（再現あそび）

お子さん、親御さん、先生・・・みんなで一緒に遊みましょう。

★さまざまな玩具を使って「擬声語」「擬態語」をしっかり聴かせていきます。

→擬声語・擬態語にはさまざまな「音声」が繰り返し含まれています。いろいろな音声を楽しみながら、**しっかり聴くこと、真似することが**、声を出すこと、そして、それがゆくゆくは正しい「発音」を獲得する基礎となります。

★さまざまな玩具を使って「やり取り言葉」や「あいさつ言葉」をしっかり聴かせていきます。



→「きくきく・わいわいコース」で扱っている「やり取り言葉」や「あいさつ言葉」は「すくすく・のびのびコース」で実践することになります。

★手先を使うことで、さまざまな機能の発達を促します。

→いろいろな声を出すためには口の中で舌の位置を動かしたり、唇を動かしたりする必要があります。手先を使い、**細かな動きを経験すること**は、口の中の細かな動きを学んでいく上でも必要なことだと考えています。手先を使う遊びの中での言葉かけも大切にして欲しいと思っています。

★楽器遊び・音遊びを楽しみながら「音があること」「音がないこと」を楽しみます。

→楽器遊び・音遊びを楽しみながら、行うことで、**聴力検査への恐怖心や苦手意識をなくし**、しっかり**聴く姿勢**を身につけていきます。

*詳細は「聴力検査の練習」の資料をご覧ください。

★楽器を吹くことだけでなく、「しー」「はー」「ふー」など**さまざまな息を出すきっかけ**を作っていきます。

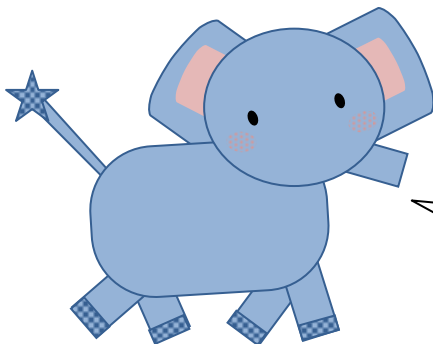


→息を出すことが、ゆくゆく「さ行」「は行」の音を獲得していく足掛かりとなります。「ば行」や「たてと」などの破裂音を獲得するためにもしっかり息を出すことが大切になります。絵本の中でも「ふー」と冷ます場面、「しー」とネンネする場面などで息を出すことを誘っていきます。

★絵本を読みながら、遊びながら「手遊び」を紹介していきます。

→歌も小さいときから聴きなじんでいくこと、楽しむことを経験していきます。聴いてわかるお歌を増やしていき、ゆくゆくは自分で歌の一部で声を出したり、歌ったりすることを目指していきます。まずは、お母さんがいろいろなお歌を覚えてほしいと思います。

「すくすく・わいわいコース」では、お友達と楽しむことへ広げていきます。



具体的な遊び方や言葉かけをお伝えしますので、「すくすく・のびのびコース」で実践し、さらにご家庭でも実践していきましょう！